

朝地町 旧綿田小学校 地区

青丸⇒豊後大野市の平均と比較して結果がよかった項目（点線は少しよかった項目）
赤丸⇒豊後大野市の平均と比較して心配な項目（点線は少し悪かった項目）

人口

◆人口・世帯数

人口 313人
世帯数 155世帯



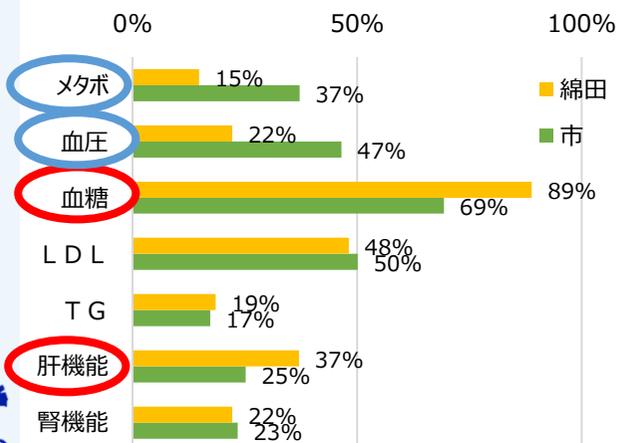
◆人口に占める高齢者の割合

65歳以上 63.6%（市全体 44.6%）
75歳以上 36.4%（市全体 25.6%）

豊後大野市内の25地区のうち、人口は5番目に少なく、高齢化率は4番目に高い地域です。

健診 〈国民健康保険：40歳～74歳〉

◆健診有所見率(n=27)



市平均 44.1%

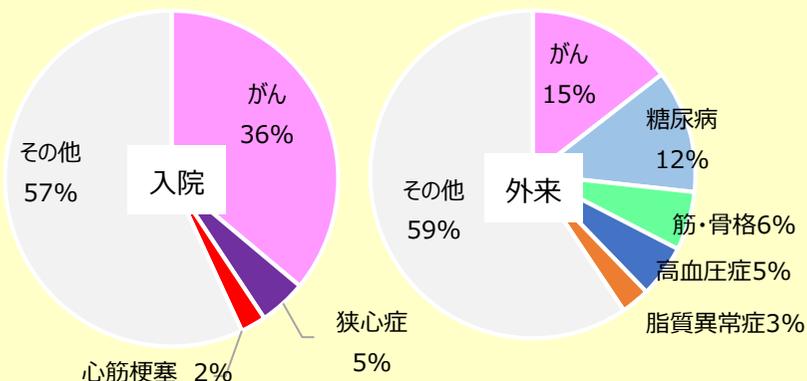
健診受診率 33.8%（市内25地域中24番目）

◆生活習慣（健診時の質問票より）(n=27)

	綿田	市
たばこを吸っている	7.1%	12.2%
20歳時体重から10kg以上増加	33.3%	33.3%
人と比べて歩くのが遅い	81.5%	63.0%
人と比べて食べる速度が速い	18.5%	27.4%
間食を毎日とっている	7.4%	17.1%
週3回以上朝食を抜くことがある	0%	5.6%
お酒を毎日飲んでいる	33.3%	26.0%
睡眠が十分とれていない	37.0%	27.3%

医療 〈国民健康保険：40歳～74歳 (n=85)〉

◆医療費に占める疾患の割合



入院医療費で最も高いのがんで、狭心症、心筋梗塞も高くなっています。

狭心症や心筋梗塞などは、生活習慣病が重症化した状態といえます。外来医療費の上位を占める糖尿病、高血圧症、脂質異常症を適切にコントロールすることで重症化を予防できます。

健診とともにがん検診も受診し、早期発見、治療につなげましょう。

健診結果から、血糖値が高い人の割合や肝機能が低下した人の割合が高くなっています。

健診時の質問票から「人と比べて歩くのが遅い」「睡眠が十分とれていない」と回答した人の割合が高くなっています。

適度な運動は生活習慣病の予防や筋力維持につながります。

自分の体の変化に気づくためにも、毎年健診を受けましょう！



健診

〈後期高齢者医療保険：75歳以上〉

健診受診率 18.0% (市内25地域中20番目)

◆生活習慣 (健診時の質問票より) (n=20) 市平均 21.6%

	綿田	市
健康状態が良くない・あまり良くない	9.5%	10.3%
お茶や汁物等でむせる	4.8%	21.2%
6ヶ月で2~3kg以上の体重減少あり	19.0%	12.4%
以前に比べて歩く速度が遅い	71.4%	60.3%
この1年に転倒あり	14.3%	19.6%
ウォーキングなどの運動習慣あり	57.1%	61.6%
同じことを聞くなど物忘れあり	19.0%	15.6%
週に1回以上の外出あり	81.0%	89.5%

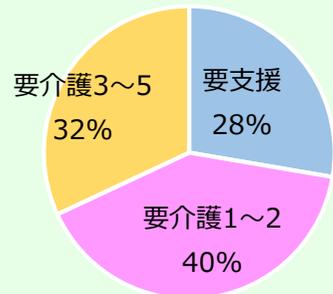
介護

(65歳以上)

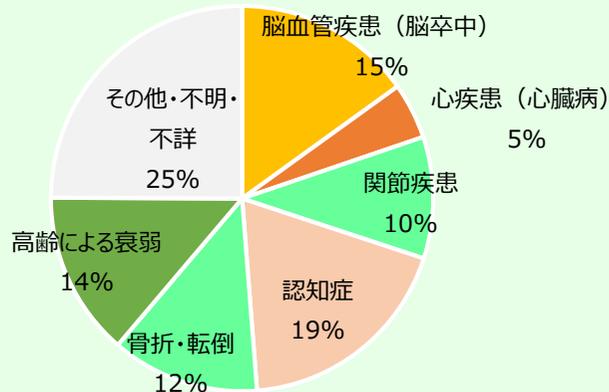
◆介護保険の認定を受けている人の割合

市平均 20.8%

23.6% (市内25地域中10番目)



◆介護が必要となった主な原因 (全国統計)

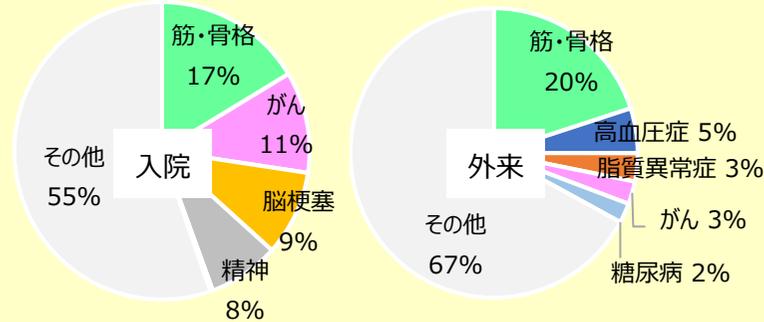


資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成28年)

医療

〈後期高齢者医療保険：75歳以上〉(n=113)

◆医療費に占める疾患の割合



◆介護認定を受けている方が罹っている疾患



入院医療費では筋・骨格が最も多く、脳梗塞も高くなっています。

これらの疾患は、重症化することで介護が必要になる可能性が高くなります。

外来医療費の上位を占める糖尿病、高血圧症などを、適切にコントロールすること、また適度な運動が予防につながります。

ワンポイントアドバイス!

～低栄養予防～

低栄養状態が続くと、体の筋肉が落ちるだけでなく、認知症や脳卒中、心筋梗塞の恐れアップ!

1. 1日3食しっかり食べる
2. 毎日バランスよく食べる (主食・主菜・副菜) (特にタンパク質を意識して!)
3. 自分にあった運動を見つけ、こまめに体を動かす



【参考資料】 人口・介護) 令和4年3月31日時点データより (高齢者福祉課作成)
 介護度別疾病状況: DHPシステム 高齢者フレイル経年票 (令和3年度)
 医療) MAPシステム疾病分類別医療費分析～生活習慣病分類～ (令和3年度抽出)

健診) 健診有所見: KDBシステム保健事業介入支援管理～健診受診あり～ (令和3年度抽出)
 生活習慣: MAPシステム質問票調査の状況 (項目別) (令和3年度抽出)

令和4年12月 豊後大野市役所市民生活課健康推進室 作成